

南三陸町高校魅力化協議会

令和元年度 南三陸町高校魅力化協議会（第6回）	
日 時	令和2年2月20日（木）16：30～17：30
場 所	南三陸町役場 3階会議室
	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 挨拶3 議事等<ul style="list-style-type: none">(1) 第1期志津川高校魅力化構想について・・・資料1（事務局）(2) パブリックコメントについて・・・・・・資料2（事務局）(3) 志翔学舎改善案について・・・・・・・・資料3（委員）4 その他<ul style="list-style-type: none">・事務連絡等（次回日程、他）5 閉会
次 第	<p><資料></p> <p>次第 「令和元年度第6回南三陸町高校魅力化協議会」</p> <p>資料1 「第一期志津川高校魅力化構想（案）」</p> <p>資料2 「パブリックコメントについて」</p> <p>資料3 「2020年度志翔学舎運営の方向性」</p>
出 席	<p>委員（敬称略）：</p> <p><出席：10名></p> <p>最知明広（副町長）、斎藤明（教育長）、葛西利樹（志津川高校校長） 山内義申（同窓会会长）、山内利也（志津川高校PTA会長）、 三浦馨（志津川中学校校長）、三浦伸俊（歌津中学校校長）、 阿部麻帆（歌津中学校PTA会長）、佐藤克哉（民間）、阿部忠義（民間）</p> <p>事務局：4名（桑原調整監、山内室長、佐藤主事、佐藤陽（魅力化専門官））</p>

<1. 開会>（事務局）

<2. 挨拶>（会長）

第6回協議会へ出席いただき感謝申し上げます。志津川高校につきましては、台湾の竹崎高校との友好校締結や「志高まちづくり議会」においてマスコミに注目される機会が多く、良い傾向である。

魅力化協議会については魅力化構想案を皆さんに提示することができました。本日改めて構想案を確認いただいた後、パブリックコメントをおこない、第7回協議会にて構想を完成させて、策定した構想を県の教育委員会に提示いたします。

高校魅力化の進捗状況について県教委に報告した際、気仙沼市においても高校魅力化の協議会が立ち上がったとの情報がありました。気仙沼、本吉管内において、少ないパイを奪いあう状況を避けるため、より一層志津川高校の魅力化を推進しなければならない。その構想のため、本日も活発な意見交換をお願いしたい。

<3. 協議>

事務局：それでは協議に入る。

（1）第1期志津川高校魅力化構想（案）について

事務局より、資料1「第1期志津川高校魅力化構想（案）」について説明。

会長：資料の説明が終わりましたが、この資料をパブリックコメントに附するので、校正箇所等あれば意見を頂戴したい。

委員：志津川高校の発展のために様々な提案をいただき本当に感謝している。

27ページの「重要施策」の中で一番懸念されるのは、「寮の整備」に関する「女子硬式野球部」について。高校でも職員間で協議しているが、非常に難しいと言わざる得ない。高校の見解として、部活動は少人数でも継続して活動でき、町民と一緒に活動できるものを考えており、女子硬式野球に代わるものとして「フラガール」を考えている。前任の学校でフラガールの活動があったが、地域の方々に非常に喜ばれた。

地域の方も含め、生涯に渡り楽しめる活動だと思う。

会長：委員から現場の貴重な意見をいただいた。「女子硬式野球部」については町長も非常に前向きである。現在は県内で私立1校のみであり、志津川高校在校生では3名ほど中学時代に野球をやっていた女子生徒がいると聞いた。このような状況を含めて、事務局では「女子硬式野球部」の設立の可能性があると考えている。

委員：個人的に「女子硬式野球部」については難しいと思う。現状の可能性としては、女子野球

部よりも男子野球部の強化だと思う。楽天との繋がりもあり、例えば月1回楽天のOBなどに指導してもらえば、現在中学校の野球部に所属している生徒達にとっては良いアピールになる。野球部に限らず、既存の部活動を強化することもひとつの手段だと思う。

委員：私は「女子硬式野球部」が非常に魅力的だと思う。部活動に魅力を持たせるには、既存の部活だけでは効果が薄い。やはり、「女子野球部の新設」であれば、魅力化のアピール効果は大きいと思う。

学校から「フラガール」という提案があったが、「チアガール」のほうが盛り上がるのでは。

会長：部活で高校を選択する生徒も多い。

委員：実際に部活で選択する生徒は多い。既存の部活では、ある程度の実績がないと生徒達は選ばない。「フラガール」については規模を大きくしなければ部活としてすぐできるのではないか。高校内で対応可能なものはすぐにでもやればよい。

「女子硬式野球部」については県内で始めようとしている高校があると聞く。志津川高校でやるのであれば早く行動に移さないと手遅れになる。

会長：「女子硬式野球部」については前回まで議論してきたことであるが、当町は楽天との関わりが非常に大きく、働きかけは十分にできる。

男子野球部の強化については近隣高校に競合が多すぎる。であれば、「女子野球部」に最初に手を挙げて、志津川高校を受け皿として進めていきたいと考えている。

委員：クラーク高校は現在楽天のバックアップを受けて活動している。その状況のなかで、志津川高校にもバックアップしてもらえるのか。

会長：南三陸町と楽天との繋がりはあるので、可能性はあると思っている。また、クラーク高校は通信制であり、全日制の高校で活動したい生徒達の受け皿と考えている。

委員：中学校の目線で言えば、部活を売りにすることは生徒達には受けが良いが、親と生徒からすればリスクが高い。指導者が変わらない私立高校とは違い、公立高校の教員は異動が伴う。「女子硬式野球部」を設立するのであれば、そういった面も含めた万全の体制が必要になる。

委員：保護者の目線でお聞きしたい。「女子野球部」ができたとして、練習試合や大会があると思うが、近隣に対戦相手もなく、大会も近隣ではできない。そうなると遠征が必要になってくるが、そういった費用面のバックアップはどのように考えているか。

現状では男子野球部の遠征費も馬鹿にならない。

事務局：金銭面については、構想案の21～22ページ財源確保について記載しております。

部のスタート時点では支援が必要になると思うが、持続可能な魅力化を進めるにあたり、高校独自でも支援を受けるような体制を考えていかなければならない。

町としての支援体制は自治体が行うクラウドファンディング等を考えております。

指導者については楽天以外にも協力いただける団体を考えております。

委員：確かに難しい課題はあり、ハードルも高いと思うが、戦略の一手として魅力化を推進するためには必要なことだと思う。今の段階で将来的なハードルを挙げればキリがない。だからこそ次年度からの専門部会でハードルを越えていくものだと思う。

個人的にはこの「女子硬式野球部」を推進したいと思う。

委員：「女子硬式野球部」について。1年目、2年目は金銭面含め行政でサポートしてもらえると思うが、それ以降は学校に任せることにはならないよう、長いスパンでサポートを考えていかなければならない。

会長：行政の支援については、次年度から財源部会を立ち上げ、持続可能な体制づくりを議論しなければならない。

「女子硬式野球部」も含めた魅力化構想については、財源含めて現時点では様々な意見がでてくるのは当然のこと。それも踏まえて実現可能な部分を増やしていきたい。

委員：魅力化構想について現場の先生方の理解も必要。町で勝手に決めたことを押し付けられたと思われてはいけない。教員含めた学校側と本気で議論しないといけないのでは。

会長：次年度予定している専門部会の中には高校、中学校の先生方。そして生徒も部会に入り議論していただく構想となっている。部会で出た意見については志津川高校の先生方に共有する体制を整える。やはり学校側の理解がないと構想が進まない。

委員：学校側の理解を得るために、時間をかけて丁寧に説明すべき。

委員：個別のアイデアについて良いか、悪いかの議論になっている。懸念事項は沢山あるが、次年度からの専門部会で具体的に固めていくのであれば、現時点の構想に特に異論はない。ただし、「女子硬式野球部」や「フラガール部」をつくったために、既存の部活動を衰退させてはいけない。既存の部活動をフォローしつつ魅力化を進めるべき。

委員：今この場で、様々な構想のアイデアが出ることは大いに結構。次年度からの部会で仕分けしていくべき。

会長：現時点ではアイデアは沢山あって良いという意見があったが、パブリックコメントに附

するのは今回の資料内容です。これから新たな施策を拡げることは難しい。次年度からの部会において対案が出ることは結構なことだが、この資料にある構想をメインとして考えてもらいたい。

委員：パブリックコメントにはこの内容のまま出すのか。

事務局：この資料と概要版を予定しております。

委員：高校生も見れるように生涯学習センターにも置いてほしい。

会長：第1期志津川高校魅力化構想については原案の通り委員の皆様から承認を得たということでおろしいか。

委員全員：了解した。

（2）パブリックコメントについて

事務局より、資料2「パブリックコメント」について説明。

会長：パブリックコメントについて何か意見はあるか。

委員全員：特になし。

（3）志翔学舎改善案について

委員より、資料3「2020年度志翔学舎運営の方向性」について説明。

会長：志翔学舎改善案について質問あるか。

委員：説明の中で、中学3年生が卒業後に志翔学舎を利用できるのは良いことだと思う。

宿題を出すよりも学舎で自習をするほうが効果的だと思う。もし可能であれば学舎の稼働率も上がり、よい取組になる。

委員：中学校の在籍期間が3月31日という決まりに拘らず、高校側としては学舎を利用してもらいたい。

事務局：契約内容にも関わることなので、現段階で可能とは言えないが、アイデアとして、志津川高校に合格した生徒が春休み期間に利用できるようにすれば、連携2中学校からのインセンティブになるので、検討する価値はある。

会長：是非検討お願いしたい。他にあるか。資料が当日配布となつたため、資料について目通しいただき、意見等あればパブリックコメントまで検討する余地はあるので、事務局まで連絡願いたい。

委員全員：特になし。

<4. その他>

事務局より次回会議の日程確認について説明

～閉会～